

書名:『ビスフォスフォネートの有用性と顎骨壊死』

編集:ビスフォスフォネート関連顎骨壊死検討委員会

著者:米田俊之・荻野浩・杉本利嗣・太田博明・高橋俊二・宗圓聰・田口明・豊澤悟・永田俊彦・浦出雅裕

判型等:B6判・横組み・ソフトカバー・128頁

定価:2100円(本体価格2000円+消費税5%)

<目次>

はじめに

I ビスフォスフォネート製剤

1. 薬物的特徴
2. 薬理作用
3. 臨床的使用
4. 副作用
5. 国内で使用されているビスフォスフォネート

II 各科におけるビスフォスフォネートの有用性

1. 整形外科
 - (1) 脆弱性骨折の発生率
 - (2) 脆弱性骨折の将来推計
 - (3) 脆弱性骨折の重篤性
 - (4) 骨折予防のための薬物療法
2. 内科
 - (1) 原発性骨粗鬆症(閉経後および男性骨粗鬆症)
 - (2) 続発性骨粗鬆症
 - (3) その他
3. 産婦人科
 - (1) 閉経後骨粗鬆症
 - (2) 閉経後骨粗鬆症の治療薬
4. 腫瘍内科
 - (1) がんの骨転移および多発性骨髄腫による骨破壊
 - (2) 骨転移のメカニズム
 - (3) ビスフォスフォネート製剤の効果
5. リウマチ科
 - (1) ステロイド性骨粗鬆症
 - (2) ビスフォスフォネート製剤の効果

III ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 (Bisphosphonate-related Osteonecrosis of The Jaw, BRONJ)

1. 顎骨の解剖学的・臨床的特殊性
2. BRONJの定義、診断、症状、鑑別診断
 - (1) 定義、診断
 - (2) 症状
 - (3) 鑑別診断
3. BRONJの報告発生頻度
 - (1) 悪性腫瘍に対する注射用BP製剤
 - (2) 骨粗鬆症に対するBP製剤
 - (3) 日本国内における推定発生頻度
4. BRONJの画像所見
5. BRONJの病理組織所見
6. BRONJと骨代謝マーカー
7. BRONJのリスクファクター

- (1) BP製剤のファクター
- (2) 局所的ファクター
BRONJと歯科インプラント
- (3) 全身的ファクター
- (4) 先天的ファクター
- (5) その他のファクター
8. BRONJと歯周病

IV BRONJの発症メカニズム(仮説)

1. 破骨細胞の抑制
2. 骨細胞の抑制
3. 口腔内細菌の関与
4. 血管新生の抑制、血管閉塞、血流低下
5. 上皮細胞の増殖、遊走の阻害
6. 骨の硬化
7. 免疫機能の低下
8. 炎症による局所pHの低下

V BRONJ動物モデル

VI ビスフォスフォネート製剤投与患者と歯科治療

1. 悪性腫瘍に対する注射用BP製剤投与予定患者
2. 悪性腫瘍に対する注射用BP製剤投与中患者
 - (1) 注射用BP製剤の休薬
3. BRONJと骨形成不全症の小児患者
4. 骨粗鬆症に対するBP製剤投与予定患者
5. 骨粗鬆症に対するBP製剤投与中患者
 - (1) 経口BP製剤の休薬
 - (2) 抜歯後の経口BP製剤投与再開

VII BRONJの治療方針

1. 治療のゴール
2. BRONJの治療
 - (1) 注意期
 - (2) ステージ1
 - (3) ステージ2
 - (4) ステージ3
 - (5) 高圧酸素療法
 - (6) その他の治療法
3. BRONJが発症した患者のBP製剤投与について
 - (1) 悪性腫瘍に対する注射用BP製剤投与患者
 - (2) 骨粗鬆症に対するBP製剤投与患者

VIII 医師、歯科医師および薬剤師の連携

IX 今後の展望

引用文献